

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|-----------------------|--------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | 東江前第1地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 | 470007 | 1 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度(繰) |
| 伊江村 | 473154 | | | |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 東江前第1地区(沖縄県伊江村) | | | | |
| 区域面積 : 42.8ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 42.8ha | 42.8ha | 100% | |

(コメント)
本地区と関連する国営、県営の事業との調整により、管路の取り付け時期が遅れているため、供用開始が平成28年4月となる予定である。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|--|-----------|--------|-------------|--------|
| 農業用排水施設 | 畑地かんがい施設 | 42.8ha | | 伊江村 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 伊江村 | 平成22年度 | 平成27年度 | 平成28年4月(予定) | |
| 事業の効果 | | | | |
| 国営かんがい排水事業伊江地区の受益地内にある本地区を、国営実施計画に併せて畑地かんがい施設の整備を行うことにより、安定的な農業用水の供給が可能となる。これにより、かん水作業の労力が軽減し営農条件が改善され、花卉及び島らっきょう、トウガン等の高収益作物への転換や農業の多角化を図ることができる。 | | | | |

3 総合評価

本地区は、花卉、サトウキビ、野菜、葉タバコ等の作物が栽培されているが、水源に乏しく農業用水の確保及び営農に支障をきたしていた。国営事業による水源の確保と当該事業導入により畑地かんがい施設を整備し安定的な農業用水の供給が可能となることで、花卉及び島らっきょうやトウガン等の作付面積が平成22年度の整備前9.1haから平成27年7月の整備後に17.4haへと作付面積が増えている。更に作物の品質向上と生産力の増加により農業経営の安定と所得向上につながるものとする。

4 第三者の意見

本事業により畑地かんがい施設を整備したことで、今後農業用水が安定的に供給されることが期待される。また、花卉、野菜等の高収益作物への転換も一部で進んでおり、農業経営の安定と所得向上が期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|-------------------------|------------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | うるま2期地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 うるま市 | 470007 472131 | 1 | 平成20年度～ 平成24年度 | 平成20年度～ 平成24年度(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : うるま2期地区 (沖縄県うるま市) | | | | |
| 区域面積 : 55.3 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|------|------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 32.5 | 32.5 | 100% | |

(コメント)
平成25年度に繰越して、完了した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|---|-----------------------|--------|---------|--------|
| 農業用排水施設 | 農業用排水施設 畑地かんがい 32.5ha | | | うるま市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| うるま市与勝地下ダム土地改良区 | 平成20年度 | 平成25年度 | 平成25年9月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 当地域は、地形や地質的な条件から、地表水および地下水が利用しにくい状況であるため、十分な農業用水の確保が困難であり、恒常的な干ばつ被害を受けていた。県営かんがい排水事業(与勝地区・与勝第2地区)の整備と併せて本事業を導入したことで、農業用水を安定的に供給することにより、野菜(ゴーヤー・オクラ・ネギ)・果樹(マンゴー)などの高収益作物への転換が図られている。 | | | | |

3 総合評価

当地域は、サトウキビを主体として野菜・花卉の栽培も行われていたが、その水源を地形地質的条件から利用しにくい地下水や地表水に依存する不安定な営農であった。しかし、本事業の導入により、安定的な農業用水が供給されることで、品質の良い農作物の栽培、増収および高収益作物への転換が期待される。さらには、与勝朝市を通じて、給食センターや地元ホテル等へ業務用食材として販売促進に取り組んでいることから、計画的な農業生産を行うことができ、農業経営の向上と地域の活性化を図ることができる。

4 第三者の意見

本事業により安定的な農業用水の確保が可能となり、農作物の増収及び高収益作物への転換が図られた。また、与勝朝市を通して農作物の販売が促進されていることから、今後地域の活性化につながる事が期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|-------------------------|------------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | うるま第3地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 うるま市 | 470007 472131 | 1 | 平成21年度～ 平成25年度 | 平成21年度～ 平成25年度(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : うるま第3地区 (沖縄県うるま市) | | | | |
| 区域面積 : 228.1 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|---------|---------|---------------|--------------------|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 13.9 ha | 13.9 ha | 100% | 平成22年8月30日 計画変更 |

(コメント)
平成26年度に繰越して、完了した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|--|-----------------|--------|----------|--------|
| 農業用排水施設 | 畑地かんがい施設 13.9ha | | | うるま市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| うるま市与勝地下ダム土地改良区 | 平成21年度 | 平成26年度 | 平成26年10月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 当地域は、地形や地質的な条件から、地表水および地下水が利用しにくい状況であるため、農業用水の確保には困難かつ多大な労力を要し、また恒常的な干ばつ被害を受けていた。県営かんがい排水事業(与勝地区・与勝第2地区)の整備と併せて本事業を導入したことで、かん水労力の軽減と安定的な農業用水の供給により、農産物の生産性の向上と野菜(ゴーヤー・オクラ・ネギ)・果樹(マンゴー)などの高収益作物への転換が図られている。 | | | | |

3 総合評価

畑地かんがい施設が整備されたことで、安定的な農業用水を供給することができ、品質の良い農作物の栽培、増収および高収益作物への転換が期待される。さらには、与勝朝市を通じて、給食センターや地元ホテル等へ業務用食材として販売促進に取り組んでいることから計画的な農業生産を行うことができ、農業経営の安定・所得の向上につながるものと考えられる。

4 第三者の意見

本事業によりかん水労力が軽減されるとともに、安定的な農業用水の確保が可能となり、農作物の増収及び高収益作物への転換が図られた。また、与勝朝市を通して農作物の販売が促進されていることから、今後地域の活性化につながるものが期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|----------------------|------------------|------|-------------------|-------------------|
| 活性化計画名 | 南2期地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 南大東村 | 470007 473570 | 1 | 平成21年度～ 平成25年度 | 平成21年度～ 平成23年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 南2期地区(沖縄県南大東村) | | | | |
| 区域面積 : 38.0 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|------------|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 9.1 ha | 9.1 ha | 100% | H24.3.30完了 |

(コメント)
該当なし

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|--|-----------|--------|---------|--------|
| 農業用排水施設 | 水兼農道 | 1,953m | | 南大東村 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 南大東村 | 平成21年度 | 平成23年度 | 平成24年4月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は平成4年度に区画整理が完了し、平成7年度に畑面集水による貯水池を整備したが、排水路等については未整備だったため、集水効率を高めるためにアスファルト舗装の水兼農道を整備した。これにより、集水効率が高まり、安定したかん水が可能となった。 | | | | |

3 総合評価

水兼農道を整備したため、集水効率が高くなり、用水を安定的に確保することができ、サトウキビの増収が図られた。また、今後は、基幹作物であるさとうきびと収益性の高いカボチャを組み合わせた複合経営を図ることにより、農業経営の安定及び所得向上が図られると期待される。

4 第三者の意見

本事業により集水効率が高まり、農業用水を安定的に確保することが可能となった。サトウキビの増収及び収益性の高いカボチャの導入により、今後の農業経営の安定と所得向上が期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|---------------------|------------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | 玉城地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 南大東村 | 470007 473570 | 1 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 玉城地区(沖縄県南大東村) | | | | |
| 区域面積 : 45.0 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|---------|---------|---------------|--------------|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 14.0 ha | 14.0 ha | 100% | 平成27年7月22日完了 |

(コメント)

該当なし

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|--|-----------|--------|---------|--------|
| 区画整理 | 区画整理 | 14.0ha | | 南大東村 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 南大東村 | 平成22年度 | 平成27年度 | 平成27年8月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は周りに池沼があり、作物が湿害を起こしていた。また、農道や排水路が未整備であったため機械化農業に支障をきたしていたが、区画整理の実施により、排水路や農道等が整備されたことで、土地及び労働生産性の向上が図られ、農家の所得向上と経営の安定化が期待できる。 | | | | |

3 総合評価

区画整理の実施により、排水路や農道等が整備されたため、機械化による営農経費の節減及び生産性の向上が図られ、農家の所得向上と経営の安定化が期待できる。
また、今後の展開として、基幹作物のさとうきびと併せて収益性の高いカボチャやパパイアを組み合わせた複合経営をすることにより、更なる農業所得向上が期待できる。

4 第三者の意見

本事業により区画整理を実施したことで、ほ場が整形化され、また湿害が解消した。このことから、機械化による農業の効率化が図られ、農業所得の向上と農業経営の安定化が期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|----------------------|------------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | 北第5地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 南大東村 | 470007 473570 | 1 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 北第5地区(沖縄県南大東村) | | | | |
| 区域面積 : 40.0 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|---------|---------|---------------|--------------|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 13.7 ha | 13.7 ha | 100% | 平成27年7月22日完了 |
| (コメント) 該当なし | | | | |

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|--|--------------------|-------------------------|---------|--------|
| 区画整理 農用地保全 客土 | 区画整理 農地保全 客土 | 7.2ha 3.3ha 6.5ha | | 南大東村 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 南大東村 | 平成22年度 | 平成27年度 | 平成27年7月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は傾斜地であったため、降雨の度に耕土流出を引き起こし耕土不足な状態にあり、また排水施設や農道が未整備であるため機械化農業に支障をきたしていた。区画整理・農地保全・客土を実施したことにより、営農環境が改善した。これにより、営農経費の節減及び生産性の向上が図られ、農家の所得向上と経営の安定化が期待できる。 | | | | |

3 総合評価

| |
|---|
| 区画整理・農地保全・客土を実施したことにより、営農環境が改善し、営農経費の節減及び生産性の向上が図られるので、農家の所得向上と経営の安定化が期待できる。また、今後の展開として、平成27年新規事業(星野地区)により貯水池の整備が予定されていることから、農業用水の安定的な使用が可能となり、更なる増収が期待される。 |
|---|

4 第三者の意見

| |
|--|
| 本事業により、営農環境が改善され、機械化による営農経費の節減及び生産性の向上が期待される。また、今後貯水池を整備し農業用水を確保することで、更なる増収が図られ、地域の活性化につながることを期待される。 |
|--|

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|--------------------|------------------|------|-------------------|-------------------|
| 活性化計画名 | 山城地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 糸満市 | 470007 472107 | 1 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 山城地区(沖縄県糸満市) | | | | |
| 区域面積 : 21.8 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 15.1ha | 15.1ha | 100% | |
| (コメント) 該当なし | | | | |

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 |
|--|-------------------------------|--------|----------------|
| 農業用排水施設 農用地保全 | 畑地かんがい施設 15.1ha 勾配修正 3.9ha | | 糸満市 山城土地改良区 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 |
| 沖縄本島 南部土地改良区 | 平成22年度 | 平成26年度 | 平成27年1月 |
| 事業の効果 | | | |
| 本地区は、昭和54年にかんがい施設の整備が完了したが、年数経過による施設の老朽化が激しく、散水できない状況であった。また、ほ場勾配が約5～10%の区域があり、大雨による耕土流出を引き起こし営農に支障をきたしていた。 本事業による畑地かんがい施設の再整備並びにほ場の勾配修正により、農産物の生産性向上とオクラ、レタスなどの高収益作物への転換が図られ、農業経営の安定化が期待できる。 | | | |

3 総合評価

| |
|--|
| 畑地かんがい施設の再整備並びにほ場の勾配修正を行ったことで、かんがい用水の安定的な供給、また農業機械の作業効率の向上と耕土流出被害の軽減等、営農環境が整った。 このことから、オクラやレタスなど収益性の高い作物への転換を促進し、農業所得の向上や農作物の安定的な収量確保へつながるものと期待できる。 |
|--|

4 第三者の意見

| |
|---|
| 本事業により、畑地かんがい施設の再整備及び勾配修正を行ったことで、農業用水の安定供給と営農環境の改善が図られた。野菜等の高収益作物への転換も進んでいることから、将来的に農業所得の向上、農作物の安定的な収量確保が期待される。 |
|---|

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|---------------------|------------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | 福原地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 南城市 | 470007 472158 | 1 | 平成20年度～ 平成24年度 | 平成20年度～ 平成24年度(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 福原地区 (沖縄県南城市) | | | | |
| 区域面積 : 9.9 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|-------|-------|---------------|------------|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 5.8ha | 5.8ha | 100% | 平成25年11月完了 |

(コメント)

既設排水路との接続部分のボックスカルバートについて、設計調整に時間を要したため、繰越となった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|---|---------------------|--------|----------|--------|
| 農業用排水施設 | 農業用排水施設 排水路L=1,036m | | | 南城市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 南城市 | 平成20年度 | 平成25年度 | 平成25年11月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は、サトウキビ・野菜果樹・観葉植物栽培の盛んな地域であるが、排水路が整備されておらず、大雨時の冠水により、農作物及び土壌流出被害が生じ、収量に著しい影響が出ていた。本事業で排水路が整備されたことにより、冠水被害を防ぎ、営農条件が改善されたことから、農作物の単収増やマンゴー等高収益作物への転換による農業所得の向上、農業経営の安定が期待される。また、地域住民の生活基盤の安全確保が図られた。 | | | | |

3 総合評価

本事業により農業用排水施設が整備されたことで、冠水被害が解消し、安全で安心した営農環境及び周辺住民の生活環境が整った。営農環境の改善により生産者の営農意欲が向上し、マンゴー等高収益作物の栽培が一層促進され、農業経営の安定及び所得向上が図られることが期待される。本事業による整備は、将来的には農業振興を中心とした地域活性化へつながるものであると考える。

4 第三者の意見

本事業により農業用排水施設が整備されたことで、冠水被害が解消し、営農環境が改善された。これにより、高収益作物の栽培が促進され、今後農業経営の安定と所得向上につながることを期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|-----------------------|------------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | 元島東地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 宮古島市 | 470007 472140 | 3 | 平成20年度～ 平成24年度 | 平成20年度～ 平成24年度(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 元島東地区 (沖縄県宮古島市) | | | | |
| 区域面積 : 51.0 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|-------------------------|-------|-------|---------------|----------------------|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設の機能の確保 | 9.5ha | 9.5ha | 100% | 事業完了年月日 H25.11.28 |
| (コメント) ※該当なし | | | | |

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 |
|---|--------------------|--------------------|----------|
| 農用地保全 農業用排水施設 | 農用地保全工事 農業用排水施設 | A=9.5ha A=8.0ha | 宮古島市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 |
| 宮古島市 | 平成20年度 | 平成25年度 | 平成25年12月 |
| 事業の効果 | | | |
| 本地区は、サトウキビ・葉たばこ・カボチャ等の野菜栽培が盛んであるが、事業導入前は、水路密度が低く長辺方向への傾斜地帯であるため、大雨時には耕土侵食により農地や農作物へ多大な被害をもたらしていた。本事業を導入し、ほ場の勾配修正及び排水路整備や農業用排水施設を整備したことで、耕土侵食による被害を防ぐとともに、安定的な収量の確保や営農労力軽減が図られ営農環境が大きく改善された。 | | | |

3 総合評価

勾配修正と排水路整備及び農業用排水施設が整備されたことで、大雨時の土壌流出による農地や農作物への被害や干ばつ時の農作物の被害が解消され、安心して農業を行うことが出来る環境が整った。今後は、担い手農家等が農業に希望を持ち、定住化へとつながるものと期待される。

4 第三者の意見

本事業により勾配修正、排水路整備及び農業用排水施設整備を実施したことで、営農環境が改善された。安定的な収量確保や営農労力軽減が図られたことで、担い手農家等の定住が今後期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|------------------------|------------------|------|-------------------|-------------------|
| 活性化計画名 | アガリカタ地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 宮古島市 | 470007 472140 | 1 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : アガリカタ地区(沖縄県宮古島市) | | | | |
| 区域面積 : 82.0 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 14.9ha | 14.9ha | 100% | |
| (コメント) 該当なし | | | | |

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|---|-------------|--------|---------|--------|
| 区画整理 | 区画整理 14.9ha | | | 宮古島市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 宮古島市 | 平成22年度 | 平成26年度 | 平成27年4月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は、耕土深が浅く区画も不整形で機械化農業体系の妨げとなっており、農業生産性が極めて低い状況であった。しかし、本事業で区画を整形化したことにより、機械化農業の導入と生産性の高い良好な農地を確保することができ、地域の農業者の定住促進を図る環境が整った。 | | | | |

3 総合評価

| |
|---|
| 区画整理を実施することで、機械化農業への転換、作業効率と生産性の向上など、営農環境が整ったことから、農業所得の向上が期待できる。 また、当地区一帯は、県営水利施設整備事業で農業用水を導入したことにより、収益性の高い作物への転換が期待されるので、将来的には農業者の定住促進、地域の活性化につながると考える。 |
|---|

4 第三者の意見

| |
|--|
| 本事業により区画整理を実施したことで、大型機械の導入が可能となり、作業効率と生産性が向上した。また、農業用水の供給も可能となったことから、高収益作物への転換が今後期待されるので、農業者の定住促進と地域の活性化につながることが期待される。 |
|--|

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|-----------------------|------------------|------|-------------------|-------------------|
| 活性化計画名 | 東上原地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 宮古島市 | 470007 472140 | 4 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 東上原地区 (沖縄県宮古島市) | | | | |
| 区域面積 : 82.0 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|---------|---------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 12.5 ha | 12.3 ha | 98% | |

(コメント)

農家要望により一部除外箇所があり、目標面積に比して実績が減となった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|--|-------------|--------|---------|--------|
| 区画整理 | 区画整理 12.3ha | | | 宮古島市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 宮古島市 | 平成22年度 | 平成26年度 | 平成27年3月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は、ほ場区画が不定型で耕土深が浅く、また、農道や排水路が未整備であったため作業の機械化が図れず、営農意欲の減退を招き地域の活力が削がれる状況であった。そこで区画整理を行い、同時に農道・排水路を整備することで、機械化営農を行うための基盤整備を行った。結果として機械化による生産性の向上が見られる。 | | | | |

3 総合評価

ほ場整備の実施により、営農環境が改善され、生産性の高い農業への転換が可能となった。これにより、本地区における農業従事者の定住が促進され、農業振興及び地域活性化が図られていくものとする。

4 第三者の意見

本事業により区画整理及び農道、排水路の整備を実施したことで、機械化による生産性の高い農業への転換が可能となった。営農環境の改善により、本地区における農業従事者の定住促進と農業振興及び地域活性化が期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|----------------------|------------|------|---------|---------|
| 活性化計画名 | 下南東地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 | 470007 | 1 | 平成22年度～ | 平成22年度～ |
| 宮古島市 | 472140 | | 平成26年度 | 平成26年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 下南東地区(沖縄県宮古島市) | | | | |
| 区域面積 : 36.9 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 16.9ha | 15.2ha | 89% | |

当初整備予定箇所の農家から地区除外の要望があり、面積減となったため達成率89%となった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|---|-------------|--------|---------|--------|
| 区画整理 | 区画整理 15.2ha | | | 宮古島市 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 宮古島市 | 平成22年度 | 平成26年度 | 平成27年4月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は、基盤整備が未整備であることから、農地は狭小、不整形で、通作道が少なく、作業が機械化できないなど営農活動の支障となっていた。しかし、基盤整備を実施し、生産性の高い良好な農地を確保することで、地域の農業者の所得向上と営農意欲向上が期待され、農業従事者の定住促進を図る環境が整った。 | | | | |

3 総合評価

基盤整備(区画整理)を実施することで、作業の機械化への移行が促進され、営農環境が改善された。これにより、増収等による農業所得の向上が図られるとともに、今後畑かん施設の整備を予定していることから、収益性の高い作物への転換も期待される。このことから、農業者の営農意欲向上、定住促進が期待でき、地域が活性化するものと考えられる。

4 第三者の意見

本事業により区画整理を実施したことで、営農環境が改善され、農作業の機械化への移行が促進された。また、今後本地区において畑地かんがい施設の整備を予定していることから、高収益作物への転換も期待され、農業者の営農意欲向上及び地域の活性化につながる事が期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|---------------------|------------------|------|-------------------|-------------------|
| 活性化計画名 | 仲皿西地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 多良間村 | 470007 473758 | 1 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域： 仲皿西地区(沖縄県多良間村) | | | | |
| 区域面積： 52.9 h a | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|-------|-------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 9.6ha | 9.6ha | 100% | |
| (コメント) 該当なし | | | | |

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|---|------------|--------|---------|--------|
| 区画整理 | 区画整理 9.6ha | | | 多良間村 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 多良間村 | 平成22年度 | 平成26年度 | 平成27年3月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 本地区は耕土深が浅く区画も不整形で、さらに地区内に道路がなく袋地状態で、植付け及び収穫等に支障をきたしていた。しかし、区画整理及び道路整備、防風施設の整備を実施することで生産性の向上と農業経営の安定化が期待できる。 | | | | |

3 総合評価

| |
|---|
| 区画整理を行ったことで、生産性の高い農地が確保ができた。これにより、農業機械の作業効率が向上し、営農環境が改善され、農業者の営農意欲増進が図られた。また、生産性が向上することで農業所得の向上、農業従事者の確保、若者の定住化の促進が期待され、村の活性化につながるものと考えられる。 |
|---|

4 第三者の意見

| |
|--|
| 本事業により区画整理を実施したことで、農業機械の作業効率が向上し、土地及び労働生産性の向上が図られた。このことから、将来的には農業従事者の確保、若者の定住化の促進による地域の活性化につながることを期待される。 |
|--|

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|----------------------|------------------|------|---------|------------|
| 活性化計画名 | 登武野地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 石垣市 | 470007 472077 | 4 | H20～H24 | H20～H24(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 登武野地区 (沖縄県石垣市) | | | | |
| 区域面積 : 14.3 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|------|------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 9.2 | 8.8 | 95.7 | |

(コメント)
※地元住民からの要望及び、景観保護のため一部未整備箇所があり、目標面積に比して実績が減となった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 |
|--|-----------------|--------|--------------|
| 区画整理 | 整地工 (かんがい施設) | 8.8 ha | 石垣島 土地改良区 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 |
| 石垣島土地改良区 | 平成20年度 | 平成25年度 | 平成26年3月 |
| 事業の効果 | | | |
| 本地区は、国営宮良川地区の農業用水を活用した稲作を中心とした地区であるが、ほ場が不整形で狭小であり、また、かんがい施設の整備が行われていない為、干ばつ被害や計画的な営農に支障を来していた。本事業を導入し、ほ場整備等を行ったことにより、耕地及び耕作面積が増加し、農作業の負担軽減や農地の生産性の向上が図られた。 | | | |

3 総合評価

ほ場整備を行い、作業労力の軽減、安定した農業用水供給が可能となり、農作物の品質向上及び安定的な収量確保が期待できる。整備により営農環境の改善が図られ、生産者の営農意欲の向上とともに農業所得が増加する。それにより、地域活性化や若者(後継者)の定住促進につながることを期待される。

4 第三者の意見

本事業においてはほ場整備を実施したことにより、作業労力の軽減と農業用水の安定供給が可能となった。生産者の農業意欲の向上と農業所得の増加が図られたことで、今後地域活性化や若者の定住促進につながることを期待される。

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|----------------------|------------------|------|-------------------|-------------------|
| 活性化計画名 | 宮良川西地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 石垣市 | 470007 472077 | 1 | 平成22年度～ 平成25年度 | 平成22年度～ 平成25年度 |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域 : 宮良川西地区(沖縄県石垣市) | | | | |
| 区域面積 : 85.8 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|---------|---------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 69.5 ha | 69.5 ha | 100% | |

| |
|--------|
| (コメント) |
| 該当なし |

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | | 事業実施主体 |
|---|------------------|--------|---------|--------------|
| 農業用排水施設 | 国営幹線水路補修 1,004 m | | | 石垣島 土地改良区 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 | |
| 石垣島土地改良区 | 平成22年度 | 平成25年度 | 平成26年3月 | |
| 事業の効果 | | | | |
| 国営幹線水路は昭和57年に設置されたが、施設の経年劣化等による漏水が発生し、営農に多大な支障を来していた。基幹水利施設の補修を実施することで、かんがい用水の安定供給が可能となり生産性の高い良好な農地69.5haを確保することが出来た。 | | | | |

3 総合評価

| |
|--|
| 幹線水路は、整備補修以降漏水が発生しておらず安定した農業用水の確保が出来た。それにより、農作物の安定的な収量が期待でき農業経営の安定、所得の向上につながるものと考えられる。 |
|--|

4 第三者の意見

| |
|---|
| 本事業により幹線水路の補修を行ったことで、安定した農業用水の確保と維持管理費の削減が図られた。農作物の安定的な収量確保が期待できることから、農業経営の安定、所得の向上につながることを期待される。 |
|---|

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

| | | | | |
|----------------------|------------------|------|-------------------|----------------------|
| 活性化計画名 | 貢馬第二地区活性化計画 | | | |
| 計画主体名 | 計画主体コード | 計画番号 | 計画期間 | 事業期間 |
| 沖縄県 与那国町 | 470007 473821 | 1 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度(繰) |
| 活性化計画の区域 | | | | |
| 区 域: 貢馬第二地区(沖縄県与那国町) | | | | |
| 区域面積: 23.5 ha | | | | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|--------------------------|--------|--------|---------------|------------------|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保 | 23.5ha | 20.6ha | 88% | 平成27年12月 完了予定 |

(コメント)

複数の農家より、当初同意が得られていた給水栓設置位置から位置変更の要望があり、その調整及び設計変更に不測の日数を要したため。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 |
|--|---|--------|---------|
| 農業用排水施設 | ファームポンド1基 取水ポンプ1基 送水路330m 配水路3,928m 給水栓80基 スプリンクラー212個 | | 与那国町 |
| 管理主体 | 事業着工年度 | 事業竣工年度 | 供用開始日 |
| 貢馬地区水利組合 | 平成22年度 | 平成27年度 | 平成27年6月 |
| 事業の効果 | | | |
| 本地区は、昭和48年～51年にかけて貯水池及びかんがい施設が整備されたが、整備後30年以上が経過しているため、老朽化により適切な利用ができない状況である。 かんがい施設を整備し、安定的な農業用水を確保することで、作物生産性の向上を図るとともに、島ラッキョウ、長命草(ボタンボウフウ)などの新規作物の導入を促進し、農家所得の向上と農業経営の安定を図る。 | | | |

3 総合評価

かんがい施設の導入により、当町の農業形態を水無し農業から水あり農業へと転換することで、安定的な農業用水の供給が実現された。営農環境の改善により生産意欲が高まり、長命草(ボタンボウフウ)等の高収益作物の安定した生産による農業所得の向上が図られることで、将来的には地域の活性化につながるものであると考え。また、本地区は当町のかんがい施設整備のモデル地区であり、本事業をきっかけに、かんがい施設が整備されていない他の地区にも波及することが期待される。

4 第三者の意見

本事業により畑地かんがい施設が整備されたことで、安定的な農業用水の供給が可能となり、作物生産性の向上と高収益作物への転換が図られた。このことから、農業所得が向上し、地域の活性化につながることを期待される。

(参考様式4-1)

貢馬第二地区活性化計画 改善計画書

平成27年8月17日作成

| | | | | |
|---------|--|--------|-------------------|----------------------|
| 都道府県名 | 計画主体名 | 地区名 | 計画期間 | 実施期間 |
| 沖縄県 | 与那国町 | 貢馬第二地区 | 平成22年度～ 平成26年度 | 平成22年度～ 平成26年度(繰) |
| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 | |
| 農業用排水施設 | ファームポンド1基 取水ポンプ1基 送水路330m 配水路3,928m 給水栓80基 スプリンクラー212個 | | 与那国町 | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値A | 実績値B | 達成率(%) B/A | 備考 |
|-------------------------|--------|--------|---------------|----|
| 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確 | 23.5ha | 20.6ha | 88% | |

2 目標が達成されなかった要因

複数の農家より、当初同意が得られていた給水栓設置位置箇所から位置変更の要望があり、その調整及び設計変更の不測の日数を要したため。

3 目標達成に向けた方策

| | |
|---------|--|
| 目標達成年度 | 27年度 |
| 事業の推進体制 | 現場技術業務を契約しており、平成27年度完了に向け推進している |
| 具体的取組方策 | 農業用排水施設については、目標どおり23.5haの整備を平成27年度中に完了の見込みである。 |

4 改善計画に対する第三者の意見

早期に事業を完了させ、目標を達成させてほしい。